

環境部会

親子で集まれ

炭焼き体験塾

園7-環 富永 征児
(財)長寿社会開発センターの助成で「炭焼き体験塾」イベントをグループ“わ”本部主催、環境部会ケナフの会・里山クラブの協力で、平成16年3月13日(土)10時~12時、シルバーカレッジ中庭で行った。なお当日午後にはカレッジ・ホールで「昔あそび塾」が行われた。

参加人員

当日は暖かい春のような日に恵まれ、18組54名(内子供28名)の参加があった。主催側は赤司代表、“わ”本部スタッフ、環境部会ケナフの会・里山クラブ、在校生ケナフの会等20名が出席し、諸々の準備、指導をした。

炭焼き準備

炭焼き体験塾は初めてのイベントで、炭焼きは1・17阪神震災慰霊に使われた竹を材料とする竹の炭焼きを行うこととし、2月に入ってから竹の貰い受け、竹の切断、6つ割り、天日乾燥等の素材準備を行った。また炭焼炉は奥須磨公園のものを借用してカレッジ中庭に設置した。

実施状況

炭焼き体験塾は、まず美工室で炭焼き方法、炭の種類と効用等を説明し、次のような順序で、炭焼きの体験をして貰った。

(1) 前日炭焼きした竹炭の焼け方・状況の見学

前日炭焼きした竹炭を炉から取り出し、炭の焼け方やできた竹酢液を見せ、素材からどれ位の炭ができるのか、また竹酢液はどんな効用があるのか等の説明を行った。炭焼きしたばかりの炭を見るのは初めての子供達で、皆関心が深かったようであった。

(2) 炭焼炉への竹の装入作業

炭焼きするためには、炭焼炉に備



中央に立っている煙突の下に炭焼炉がある

えつけられた鉄籠に竹を隙間のないようにぎっしり詰め、詰め終わった鉄籠をクレーンで炉の中に入れ、炉の蓋をする。子供達に手袋を着けさせ、我々があらかじめ準備した約48cm長の竹を鉄籠に入れる作業を交代して全員が行うようにした。単純な作業で喜んでくれるか心配していたが、これで炭ができる、ぎっしり詰めないと灰になってしまう等の興味からか、子供達は喜んで作業してくれ、またお父さん・お母さん達も子供がうまくできるように手助けされ、親子の微笑ましいふれ合いが見られた。

(3) 炭焼炉の点火と炭焼き体験

炭焼きは点火後薪を焚きながら、約4時間位で350~400に加熱し、更に350~400に約1時間保持し、その後は炉を密閉し、翌朝迄徐冷する。

当日は、点火し、薪を燃やし、煙突からもうもうと煙が出る様子、炉に備えつけられた温度計の上昇状況や覗き窓から炉内の状況等を見せ、少しでも炭焼きの体験を感じて貰えるように行った。子供達はもうもうとあがる煙や炉内の火の様子等を実際に見て、声を上げる子供もあり、炭焼きに興味を持ち、またある程度の体験感も感じてくれたように思った。そして子供達に前日焼いた竹炭を記念に自分で袋に入れ、持ち帰って貰った。

ふりかえてみよう

最後に「ふりかえりシートに書きましょう」および「ふりかえてみよう」を行った。ふりかえりシートに書かれたこと、ふりかえてみようで述べられたトピック的なことは次のようであった。

炭が350~800(今回の体験塾では350~400)での蒸し焼きによりできることを初めて知り、竹炭焼きを体験し、勉強が楽しかった。

炭には消臭や土をよくする、水をきれいにする等の作用があることを覚えた。

(親御さんから)子供と一緒に勉強し、また作業することはあまりないが、きょう半日子供と勉強し、楽しむことができました。本当にありがとうございました。

所感

当日は午後カレッジ・ホールで「昔あそび塾」も開催され、そちらに参加する方も参加されたと思うが、炭焼きは都会では体験できないことであり、我々の予想以上に親子共々炭焼きの体験を楽しんで貰い、また役立ったと感謝して頂いたように思った。

なお当日の炭焼きは、3月22日(月)NHK-TV関西版で「昔あそび塾」と合わせて放映された。このビデオは“わ”本部に保存されているので興味ある方はご覧下さい。